



講演する塔村部会長

講演を行っ

えたことを報告。木材関係におけるJASの認定制度とJAS見直しの手順、合板に対する改正案の概要を解説した。

またオーシカの機能性樹脂グループ技術主任である兼城健司氏は、化粧貼り構造用合板で必要な接着剤の性能について、森林総合研究所の青木謙治氏は厚物合板の用途展開について報告した。

プレカットCADを追加導入・更新

熊谷木材工業

関東でプレカット事業を展開する熊谷木材工業（埼玉県熊谷市、飯塚秀司社長）のクマ

モクプレカットでは、プレカットCADの追加導入と旧ソフトのアップデートを図る。同社は現在、トリアCADを4台採用しているが、これに最新ソフト1台を導入し、また既存の4台も最新のものに更新する。これにより、CAD処理が5台で行えるようにする。

これらの導入について飯塚社長は「既存のCADソフトが6年前のものであり、処理能力の向上と、大型木造物件への対応のために同ソフトの更新を図る」と話す。

同社は近年、大型木造物件の受注が増加している。今回のCADの更新は、これらの物件への積極的な取り組みで、特殊加工機の導入も検討している。

LIVING&DESIGN2013に出展

タカラスタンダード

タカラスタンダード 阪市、
夫社長）
29日、
国際会議
開催さ
空間の
本市「
ING
SIG
013

展する。

同社は、独自のりに最適な素材位「ロー」を「ヤビネット」の隅で採用した、最ローシステム「レミュー」する。

「今後も業界誇る全国約17のショールームとして、当社の基礎である。見せてことを徹底する

合研究所の久氏は、15年にイオマス発電の建設が幾つれているなか向けB材需給に変化についてしを語った。林水産省消費センターの渡、JAS改正今回から、化造用合板の追加6規格に増

ほか、販売管

住宅の販売戸数は、4

引き続き増収増益とな

カー向けで新築